

あなたの関心ワード「**社会**」に対して
人間学群 障害科学類 の先生からの夢ナビ講義です。

脳の学習プロセスを明らかにし、多様で適切な教育に役立てる

脳の高度な働き

知的な発達に遅れがなくても、「聞く・話す」「読む・書く」がうまく習得できない障害を「学習障害」といいます。「聞く・話す」「読む・書く」はできて当然と思う人もいますが、実はそうとは言い切れません。例えば「ヘリコプター」という文字が書かれているとき、多くの方は瞬時に「ヘリコプター」と読みます。これは、漢字を読むときと同様に、脳内でカタカナを一文字ずつではなく「かたまり」と認識し、処理しているからです。このように、単語を読む行為だけでも頭の中で複雑な処理がなされていることを知れば、「聞く・話す」「読む・書く」がうまく習得できない人たちの「勉強不足」「努力不足」と決めつけることはできないはずです。

認知神経心理学とは

心理学には、脳に目立った不具合がない人を対象に、「認知モデル」を使って認知活動を研究する「認知心理学」と、事故や病気などによる後天的な障害や、遺伝などの先天的な障害がある人を対象に、精神や脳の働きについて研究する「神経心理学」があります。そしてこの両方に共通する要素を備えた「認知神経心理学」もあり、「認知モデル」を用いながら、脳に障害がある人のどこに不具合があり、読み書きや言語の習得の遅れの原因は何なのかを探っていきます。

多様性の時代に

これまでの研究で、「聞く・話す」「読む・書く」能力を獲得するプロセスは非常に多様であり、学習障害がある人とそうではない人を明確に分けられないことがわかっています。こうした知見を学校教育の現場に提供し、より多様な学習・支援のあり方へとつなげることも、認知神経心理学の重要な役割です。

また、グローバル化が進み、日本の学校にも外国にルーツをもつバイリンガル・マルチリンガルの子どもが増えています。そうした人たちが「聞く・話す」「読む・書く」力の習得に問題を抱えている場合、その要因が多言語にあるのか、それとも発達によるものなのかを明らかにする上でも、認知神経心理学が役立てられています。



この講義の学問分野 ▶ ⑤ 心理学・行動科学 / ⑪ 教育



私が回答しました!

筑波大学

人間学群 障害科学類
助教 三盃 亜美 先生



高校時代は大学受験のための勉強も大切ですが、あなたが興味・関心をもったことがあれば、入門書やエッセイのようなものや、そのことについて書かれた書物に触れる機会をつくってみるといいと思います。そうすることで、自分の視野を広げることができ、大学選びで何を重視するのか、あなたなりの基準ができるでしょう。自分なりの目標をもって大学に進学できるよう、ぜひ試してみてください。

筑波大学(茨城県) に興味を持ったら

筑波大学は、我が国を代表する研究機関集積地の筑波研究学園都市の中核を占める総合大学です。東京教育大学の伝統を受け継ぎ、柔軟な教育システムと専門分野を備え、学際性を重視しています。「学群・学類」制による学部段階教育、全教員の大学院所属による研究の重視、学生宿舎や課外活動など充実した学生生活支援などが特色です。今や「Tsukuba」ブランドは、研究成果とともに国際的にも高い評価があります。